6. 訓練カリキュラムについて			
	科目	科目の内容	訓練時間
学 科 実技	入校式、修了式、オリエンテーション	入校式・訓練の概要説明(3h)、修了式(2h)	
	就職支援	履歴書作成、面接指導(12h)	
	職業能力基礎講習	自己理解、職業意識、表現スキル、人間関係スキル、ビジネスマナー	24時間
	職務の理解	介護職の理解、介護職の仕事の内容や働く現場の理解	12時間
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護	12時間
	介護の基本	介護職の役割、専門性と他職種との連携・介護職の職業倫理、介護における安全の確保と リスクマネジメント・介護職の安全	12時間
	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション・障害者自立支援制度およびその他の制度	12時間
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	12時間
	老化の理解	老化に伴うこころとからだの変化と日常、高齢者の健康	12時間
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活、家族への支援	12時間
	障害の理解	障害の基礎知識・障害の医学的側面、生活障害、心理行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識・家族の心理・かかわり支援の理解	6時間
	こころとからだのしくみと生活支援技術	・介護の基本的な考え方(6h)・介護に関するこころとからだのしくみと基礎的理解(6h)・生活と家事、快適な居住環境整備と介護(6h)・こころとからだのしくみと自立にむけた介護(整容・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠)(36h)・死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護(6h)、介護過程の基礎的理解(6h)	66時間
	振り返り	振り返り・就業への備えと研修修了後における継続的な研修	6時間
	同行援護従業者の知識	一般課程・視覚障害者(児)福祉サービス(3h)、同行援護の制度と従業者の業務(3h)、同行援護の基礎知識(3h)、情報支援と情報提供(3h)、代筆,代読の基礎知識(6h)	18時間
	全身性障害者移動介護従業者の知識	移動介護従業者の制度と業務(1h)、重度肢体不自由者における障害の理解(1h)、介護に係わる車イス及び補装具等の理解(1h)、移動介護時における姿勢保持(1h)、移動介護時におけるコミュニケーション(2h)、事故防止に関する心がけと対策(1h)	7時間
	安全衛生	安全衛生の必要性、企業実習で行う作業の安全衛生について	4時間
	実習ガイダンス	実習の目的、実習目標について説明を受け、自らの問題意識を整理する	2時間
	こころとからだのしくみと生活支援技術(演習)	・こころとからだのしくみと自立にむけた介護(整容・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄)(30h)・睡眠に関連したからだのしくみと終末期介護(6h)・総合生活支援技術(24h)	60時間
	同行援護従業者の技術(演習)	基本技能(基本姿勢、歩行、曲がる、狭い場所の通過、ドアの通過、椅子への誘導、段差・階段歩行) (9h)、応用技能(環境に応じた歩行、種々の階段及びドア、エレベーター・エスカレーター利用及び交通機関の利用(地下鉄乗降)(9h)、場面別技能(食事、トイレ、買い物、窓口やカウンター等)(12h)	30時間
	全身性障害者移動介護従業者の技術(演習)	車イスでの移動介護に係る技術	5時間
	易体験 □職業人講話 易見学 □その他		
	実習	□実施しない  ■実施する	24時間
	訓		336時間

## 訓練目標について

介護職員初任者研修課程、同行援護従業者(一般課程・応用課程)、全身性障害者移動介護従業者養成研修課程を 修了し、高齢者介護福祉分野のみならず障害者支援分野への就職もめざす。

